

研修報告

総務常任委員会

●研修目的

- △自立に向けた行財政運営
- △工場立地と環境対策
- △ごみの分別と減量化

●研修地

- △静岡県長泉町
- △山梨県都留市

●研修結果

長泉町は、静岡県の東部に位置し、豊富な地下水や主要交通網に恵まれ、企業進出が多く、工業特化が進む町です。面積26・51km²、人口38,667人、財政力指数1・268で税収も70億円と財政状況は非常に良く、合併をしないで単独のまちづくりを推進しています。

自立に向けた行財政運営として、効率性と住民サービスの均衡を図りながら、量的な

削減と質的な改善に分類して約80の実施項目について事務改善に努めてきました。

特に、行政評価制度を導入し、146の施策や事業を住民の視点に立って客観的に評価し、改善を行ったり、「係制」を廃止し「グループ又はチーム制」とする組織のフラット化を行っており、職員数の削減、時間外勤務時間数の減少等の効果を上げるなど、積極的に行政改革を進めています。

町内には、東レ三島工場をはじめ160を超える製造業が立地しており、工場からの公害を防止するため、33社と一般公害、燃料、ばい煙、排水、騒音・振動の規制や立入調査等について公害防止協定を締結しています。特に排水規制については、法令や県条例より厳しい排出基準とするなど環境対策に努めています。

す。

都留市は、山梨県の東南部に位置し、面積161km²、人口35,513人で、昭和35年に都留文科大学を設置しています。財政力指数は0・469で、合併しないで単独のまちづくりを推進しています。

三位一体の改革により一般財源が8億円減額するなど厳しい財政状況であり、助役を置かず、また特別職給与の6%減額などの措置を行っており、今後も協働・自立・効率を柱に行政改革を推進していくこととしています。

ごみ処理は、隣の大月市との広域事務組合で収集・焼却を行っており、ごみ収集業者は、組合が入札を行い決定しており、また、600人の美化協力員を委嘱し、ごみ置場の管理やごみの分別・減量化の啓発を行い、効果を上げているのとこのとおりです。

それぞれ創意工夫を凝らして事務改善や経費の節減に努めており、また、立地企業の環境対策やごみ収集について



もそれぞれの実態が把握でき、大変有意義な研修となりました。

文教厚生常任委員会

●研修目的

- △老人福祉と児童福祉の複合福祉の効果について

●研修地

- △東京都 港区
- △東京都 品川区

●研修結果

港区の老人福祉施設「サン・サン赤坂」と子ども中高生プラザ「プラザ赤坂なんでも」は、廃校になった旧小学校校舎を増改築した建物に併設された施設で、老人福祉と児童福祉を複合することにより相乗効果を発揮している施設ですが、誌面の都合で紹介のみにさせていただきます。

品川区の高齢者福祉施設「ケアセンター南大井」では、当町が本年度から開始を予定している「介護予防・高齢者筋力向上トレーニング」を平成16年度から実施していました。4種類の運動がセットになった高齢者向けのトレーニング機器を使用して、筋力増強・身体機能の向上を目指し、活動性の拡大と要介護度の改善を図ることを目的に、区内在住65歳以上で「要支援」の認定を受けている人や、日常